

国保の都道府県単位化

高すぎる保険料(税)の引き下げこそ、

最大の課題！



9/21 予算特別委員会で

北朝鮮
問題

圧力とあわせて
「対話」の努力こそ必要

9月19日 県議会は
「北朝鮮による弾道ミサイル発射等に抗議する決議」を、全会一致で決議。圧力を強めながら、眞の解決のためにアメリカと北朝鮮による無条件の交渉開始が必要です。国連決議も外交交渉を求めています。武力衝突は絶対に避けなくてはなりません。

10/22
衆院選

北陸信越ブロックで
日本共産党

藤野やすみさん当選

日本共産党は、県内で比例22,770票（得票率4.8%）を獲得。北信越ブロックでの1議席獲得につながりました。富山1区では青山了介さんが、急きよの立候補にもかかわらず13,471票（10.64%）獲得。前回の党候補の票を3,676票伸ばしました。

全国的には、沖縄一区で議席を獲得したものの、比例代表で前回20議席を11議席に後退させる結果となりました。力不足で、日本共産党への期待を結果に結びつけられませんでした。

選挙直前に「民進党」が「希望の党」への合流を発表し、野党共闘に重大な逆流が持ち込まれました。それでも、日本共産党は共闘勢力の一本化のために、全国67の小選挙区で候補者を取り下げるなど、努力しました。立憲民主党が躍進し、市民と野党の共闘が結果として議席を増やしたことは貴重です。

◆富山1区の結果

		得票（得票率）	
		今回	前回（2014.12）
青山りょうすけ	共	13,471(10.64)	9,795(8.22)
田畠 裕明	自	74,876(59.16)	70,085(58.83)
吉田 豊史	維	38,291(30.20)	39,249(32.94)
合計		465	472

市町村の繰り入れは自由
保険料引き下げに努力を

9月定例県議会の予算特別委員会質問でひづめ県議は、①北朝鮮問題、②国民健康保険の都道府県単位化、③立山黒部の自然環境と生物多様性保全、④県立高校再編と学校図書館などについて取り上げました。

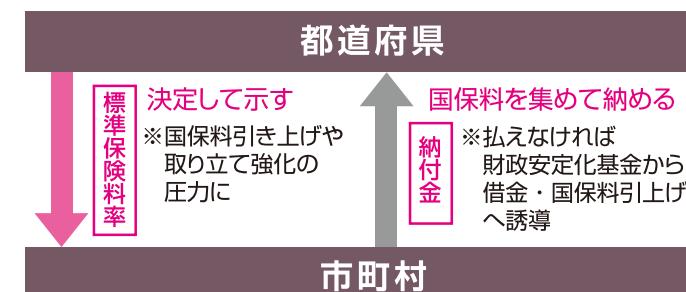
国民健康保険は、他の健康保険に加入できないすべての国民が加入する制度。憲法25条にもとづく社会保障であり、国民皆保険制度を支える土台です。

しかし、加入者の中心が農林水産業や自営業者から、非正規労働者や無職の人々に変化し平均所得が減少。加えて、加入者の高齢化に伴い医療費が増大し、国保会計は厳しい運営を強いられています。今回の制度変更の目的は、本来この「構造的問題」の解決にあつたはずでした。

来年4月から、国民健康保険の管理・運営が、市町村から県に移されます。保険料の徴収や、保険料の決定はこれまでどおり市町村が行います。（左下の図参照）

国保の「構造的問題」 高すぎる保険料

●国保「都道府県化」の概略



3年度の44.44%から、2015年度36.

国庫補助金のさらなる
増額を求めて



10/28 藤野さん当選報告集会で

選挙の結果、自民・公明が議席の3分の2を占めたことは重大です。自民党的比例票は33%（有権者比17.3%）なのに、前議席の61%を獲得。大政党に有利な小選挙区制度と、野党分断の結果に他なりません。今後のたたかいが重要です。

今回、衆院選としては、市民と野党共闘で臨む初めての選挙でしたが、多くの貴重な経験が生まれました。次回選

挙にむけ、党の姿をさらに伝え広げ、党の組織を強化することが求められています。

果として、一人当たりの保険料は全国的に2・4倍に上昇。富山市でも、例えば40代夫婦・4人家族（所得200万円）の場合は、保険料は38万円にもなります。国は、都道府県単位化にあたって3,400億円の支援金追加を決めましたが、この補助率回復のためには本来1兆円追加が必要です。ひづめ県議は、知事が支援金のさらなる増額を国に働きかけるよう求めました。

日本共産党

2017年11月

ひづめ 弘子 県議会報告 No. 56

発行 日本共産党富山県議団
〒930-0982 富山市荒川2丁目24-12
電話(076)432-8383 FAX(076)442-1220
Eメール／hiroko.jcp@sand.ocn.ne.jp



●ご意見、ご要望を何でもお寄せ下さい。